

みやこ社協だより

No.47 3月1日号

■この広報誌は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています

社会福祉法人宮古市社会福祉協議会

ホームページ：www.miyako-shakyo.or.jp

宮古市総合福祉センター

〒027-0038
宮古市小山田二丁目9番20号
☎(64)5050 FAX(64)5055
Email: info@miyako-shakyo.or.jp

新里センター

〒028-2101
宮古市茂市第1地割115-4
☎(72)3437 FAX(72)3433
Email: vc-n@miyako-shakyo.or.jp

田老福祉センター

〒027-0321
宮古市田老字乙部151-29
☎(87)2224 FAX(87)4072
Email: chiiki-t@miyako-shakyo.or.jp

川井センター

〒028-2302
宮古市川井第2地割165
☎(76)2310 FAX(76)2490
Email: kawaiisho1@miyako-shakyo.or.jp

江繋地域の地域福祉懇談会
(12月19日(火)開催)



○自分の暮らす地域のことを
みんなで話し合う

前回12月1日号で「地域福祉懇談会」の目的について掲載いたしました。このたび、11月27日(月)の門馬地区を皮切りに川井地域の6ヶ所で開催しました。

これまでの社協だよりに掲載した「地域福祉の取り組み」を念頭に、地域の施設を運営している特別養護老人ホーム心生苑と共催。時には学校関係者も参加し、様々な立場から話し合いました。

地域福祉懇談会であがったことについて少し紹介します。

自分の暮らす地域の「気になること」と「私達に出来ること」を話し合う

「地域の気になること」

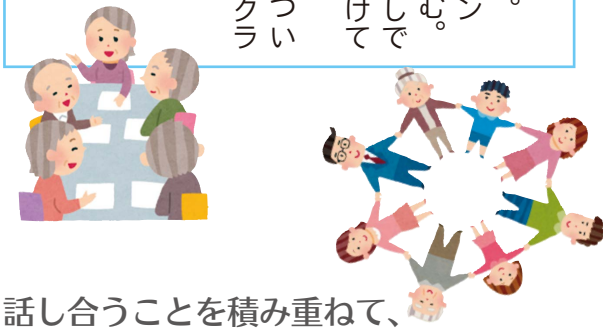
- 昔からのネットワークが崩れている。
- 災害時の高齢者等の避難が心配。
- 買い物や通院時の不安、除雪が出来ない。
- 行事に人が集まらない。
- スクールバスで通学するため、子ども達を見なくなった。
- 「普段の生活に関わる困りごとや、少子高齢化・人口減少等による地域の現状で気になることがあがっています。」

「私たち地域で出来ること」

- ・ 普段の付き合いを大事に。
- ・ 学校との交流、出前ボランティアなど一緒に取り組む。
- ・ 福祉関係者に任せっぱなしではなく、地域でも気にかけて協力していく。
- ・ 見守りや災害時などについて、次回は消防団、老人クラブ、駐在所なども加えて話し合いたい。
- ・ 地域の人たちが関わり合えるための方法を考えています

「福祉施設(事業所)から」

- ・ 今、今、困った形でのサービス利用が多いので、もっと前から関わられるように地域と一緒に考えていきたい。
- ・ 今後も引き続き各地区のニーズに合った形で話し合いをしたい。
- ・ ふだんから地域と施設をはじめ企業や商店、学校などがつながることにより、重症化を防ぎ、住み慣れた地域で暮らし続けていくことにつながります。



話し合うことを積み重ねて、
地域のことをみんなで共有し、
つながりを作っていきます。

「かわいい地域包括支援センター」

〈業務内容〉・総合相談・権利擁護、
介護予防支援、ケアマネジメント支援など



宮古市川井第2地割165宮古市社協川井センター内
☎59-5008 Fax76-2490

日常生活圏ごとに
地域包括支援センターを順次開設

これまで、地域包括支援センターは市内2か所(市介護保険課内と川井保健センター内)でした。これからは川井地区を皮切りに、日常生活圏ごと(おおむね中学校区)に8つの地域包括支援センターが順次開設されます。

高齢者の総合的な相談窓口・支援機能のほか、地域福祉懇談会をはじめ、地域の課題やニーズを地域の皆さんと共有しながら、地域の誰もがつながり、高齢者をはじめ地域の困りごとをみんなで協力し合い解決していく地域包括ケアシステムづくりを進めていきます。

第29回宮古市福祉作文・標語コンクール入賞者決定

今年で29回を迎える福祉作文・標語コンクールを開催し、小学校の部71点、中学校の部33点、高等学校・一般の部20点、合計124点の応募がありました。

また、標語の部は79名、計144点の応募がありました。

1月30日、1月31日、2月5日に審査会を行い次の通り入賞者が決定しましたのでお知らせします。

作文の部

【小学校の部】

○最優秀賞

「たのしかったこうりゅうつかい」
田老第一小学校一年山崎夢羽
「ありがとう」をありがとう
宮古小学校二年宇都宮陽菜

「幸せをねがってさかせるつじ」
千徳小学校三年若狭瑠依
「両親のよつにわたしてもできるよつに」
宮古小学校四年斎藤凜

「笑顔が見たい」から
千徳小学校五年内舘柚子
「心の力をきたえて」
崎山小学校六年菊池海聖

「手わ」
山口小学校一年小野寺望

○優秀賞
山口小学校一年小野寺望

○最優秀賞
山口小学校一年小野寺望

○優秀賞
山口小学校一年小野寺望

○最優秀賞
山口小学校一年小野寺望

「ひいおばあちゃんと言えそび」
千徳小学校二年小野寺凜晏

「デイサービスほうもんで感じた事」
藤原小学校三年山内春陽

「ぼく達の頭で考えて、工夫して」
磯鷗小学校四年舘洞輝弥

「助け合えるまちになってほしい」
津軽石小学校五年舘下七望

「松葉つえ生活の経験を自分の未来へ」
千徳小学校六年岩沢美唯捺

○優良賞
「だいじん人、おばあちゃん」
崎山小学校一年盛合理央

「やさしさのバトンパス」
山口小学校二年箱石香乃

「ささえ合うこと助け合うこと」
磯鷗小学校三年荒川純花

「障がいについて学んだこと」
宮古小学校四年佐々木美陽乃

「少しの勇氣から生まれるものは」
田老第二小学校五年舘崎太一

「福祉体験で学んだこと」
田老第三小学校六年畠山芽依

○中学校の部
○最優秀賞
「ボランティアの力」
河南中学校一年岡市桃羽

「「しあわせ」をつくる仕事」
川井中学校二年佐藤美月

「笑顔のバリアフリー」
重茂中学校三年山本玲那

○優良賞
「お年寄りの方々の力」
宮古西中学校一年山本凜

「「不自由な人」への優しさ」
第一中学校二年吉田衣織

「千里の道も一歩から」
重茂中学校三年佐々木育海

○優秀賞

「気持ちよく過ごせる環境に」
宮古西中学校一年大久保凪都

「ベトばあちゃん」
河南中学校二年松本真宗

「みんながスポーツできる環境に」
重茂中学校三年伊藤胡桃

○優良賞
「お年寄りの方々の力」
宮古西中学校一年山本凜

「「不自由な人」への優しさ」
第一中学校二年吉田衣織

「千里の道も一歩から」
重茂中学校三年佐々木育海

○最優秀賞
「自分にできること」
宮古高等学校三年北村佳菜

○優秀賞
「老人達と作る福祉」
宮古高等学校三年大谷海智

○優良賞
「差別されない世界を造るために」
宮古高等学校三年佐々木緋毬

○特別賞
「かがやきテイサロン」
磯鷗小学校二年浅沼いつき

「宮古に笑顔を」
山口小学校三年小笠原みらい

「人と人とのつながりを大事に」
山口小学校六年清水こころ

○特選
「さりげない その一言が杖となる」
松山 大久保七海

○入選
「どうしたの？ 聞いてもらうとうれしいよ」
重茂中学校 山崎紘子

「分けないで 皆同じ」
川井中学校 菊地真央

○佳作
「あなたの手 さしただけでプレゼント」
重茂中学校 小松実結

標語の部

「認知症と向き合う」
川井中学校二年菊地真央

「支えられる日々」
一般 松山 大久保七海

○特選
「さりげない その一言が杖となる」
松山 大久保七海

○入選
「どうしたの？ 聞いてもらうとうれしいよ」
重茂中学校 山崎紘子

「分けないで 皆同じ」
川井中学校 菊地真央

○佳作
「あなたの手 さしただけでプレゼント」
重茂中学校 小松実結

「大丈夫 一人じゃないよ」
重茂中学校 石村董

「優しいは みんなに届く」
川井中学校 田代晟聖

「やさしさは みんなに届く」
川井中学校 田代晟聖

「優しいは みんなに届く」
川井中学校 田代晟聖

「優しいは みんなに届く」
川井中学校 田代晟聖

「優しいは みんなに届く」
川井中学校 田代晟聖

「優しいは みんなに届く」
川井中学校 田代晟聖

「優しいは みんなに届く」
川井中学校 田代晟聖

「優しいは みんなに届く」
川井中学校 田代晟聖

「優しいは みんなに届く」
川井中学校 田代晟聖

「優しいは みんなに届く」
川井中学校 田代晟聖

ぜひ
作品集をご覧ください

応募いただいた作品の中には、自分の家族について、学校での福祉体験学習、ボランティア活動などの体験を題材にした作品が多くみられ、福祉について考えを深める機会となっていて、ことが伺えます。また、体験を自分の将来へ、さらには宮古市の将来へ結びつけて書いている頼もしい作品も見られました。

標語については他人を思いやる気持ちが表現された作品が多く入賞し、心温まるみんなの「合言葉」として共有していきたいと思えます。

入賞作品は作文文集、標語ポスターを作成し、市内の公共施設や福祉施設等皆さんの目に触れるところへ配布する予定です。ご覧いただいた皆さんが福祉について感じ・考え、そこからまた福祉の輪が広がっていくことを期待します。



ご協力ありがとうございました。

～赤い羽根共同募金・宮古市歳末たすけあい運動結果のご報告～

10月1日から12月31日まで実施いたしました『赤い羽根共同募金』では、市民の皆さまをはじめ、法人・事業所からのご支援により、多額の募金が寄せられました。

また、学校、職場、街頭での募金活動にも、多くの皆さまにご協力をいただきました。

「つながりささえあうみんなの地域づくり」をスローガンに、12月1日から31日まで実施いたしました『宮古市歳末たすけあい運動』へも、多くの市民の皆さまから、あたたかいお気持ちをお寄せいただきました。募金活動へのご協力に対し、厚く御礼申し上げます。

そして、募金運動期間中には、地域の皆さまから赤い羽根共同募金に対する貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。お寄せいただいたご意見は、今後の活動のために役立ててまいります。

今後とも皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

宮古市歳末たすけあい運動

募金総額 **8,687,157 円**

募金目標額 10,610,000 円 / 達成率 81.9%

〔内訳〕 戸別募金 8,433,735 円
個人募金 29,349 円
その他の募金 224,073 円

【配分結果】

お寄せいただいた募金は、地域で支援を必要とする人たちが、安心して新しい年を迎えるように、次のとおり配分いたしました。

●地域福祉活動団体配分 14団体 292,000円

市内で活動している障がい児・者会、親の会や子育て自主サークル、私立・無認可保育園の、年末年始に行う行事の経費の一部として。

●地域福祉活動事業配分

「みんなでささえあうあったかい

地域づくり支援事業」25団体 960,000円

地域みんなが互いに交流したすけあい、住民が主体とて行う年末年始の交流・たすけあい活動の経費の一部として。

※団体配分、事業配分を受けられた団体等のお名前は、宮古市共同募金委員会ホームページをご覧ください。

●在宅者配分 671件 6,710,000円

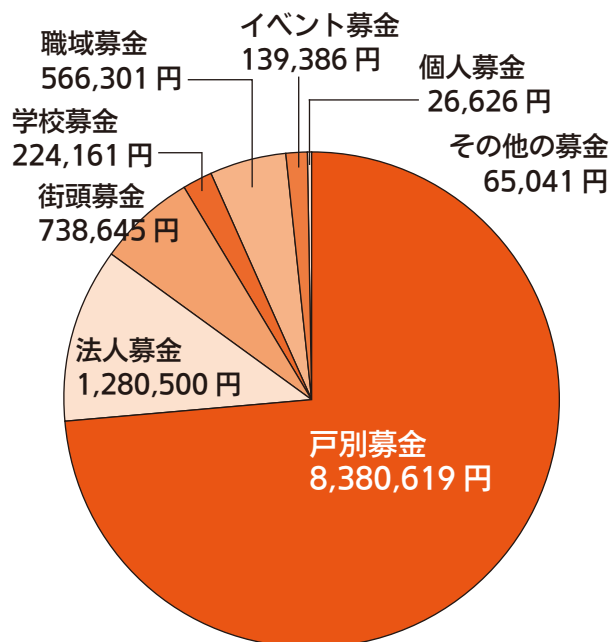
介護人 (259件)
在宅重度心身障がい児・者 (119件)
出生世帯 (293件)

※なお、募金総額から配分額と事務経費 (44万円) を差引いた額 (285,157円) は、平成30年度の地域福祉活動費として役立てられます。

赤い羽根共同募金運動

募金総額 **11,421,279 円**

募金目標額 13,831,000 円 / 達成率 82.6%



お寄せいただいた募金は、一度、岩手県共同募金会でまとめられた後、わたしたちのまち「みやこ」を良くしていくための翌年度一年間の福祉活動費として、社会福祉施設、福祉団体や社会福祉協議会等に配分され、地域の福祉事業のために大切に使われます。この他にも、岩手県内の福祉課題の解決や、共同募金運動の推進、そして大規模災害時の活動支援の備えとして活かされます。

ボランティア・市民活動センター情報

○宮古市内企業・法人向け「地域貢献」に関するアンケート調査結果

近年、企業・法人の「地域貢献活動」は大変注目されていますが、興味はあるけど足を踏み出せない…という方々も多いのではないのでしょうか？そうした企業・法人へのサポートの模索や、地域貢献活動に対する意識等を把握する為、調査を実施しました。今回はその結果をご報告します。

○地域貢献活動の有無

現在行っている地域貢献活動の有無については、行っている活動が「ある」という企業・法人は約4割でした。

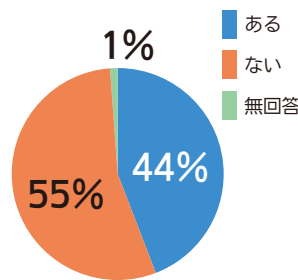
○地域貢献活動への興味

興味の度合いを尋ねたところ、約8割の企業・法人が「興味がある」と回答し、さらに、

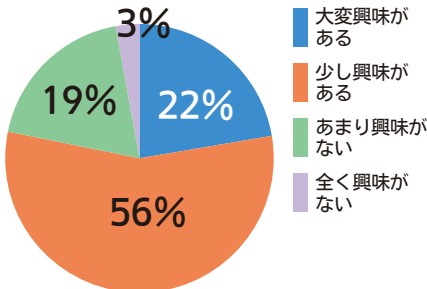
調査概要	
期間	平成29年12月1日～12月15日
方法	郵送調査
回答	187/475 (回答率39.4%)

アンケートにご回答の際、温かいコメントや書き損じはがき・使用済み切手の寄贈など、本当にありがとうございます。

1. 「地域貢献活動」の有無



2. 地域貢献活動への興味について



現在地域貢献活動を行っている企業・法人も、約7割は地域貢献活動に興味を持っていることが分かりました。

今後はこの調査結果を基に、宮古市内の地域活動が活発化するよう、個々に対応していきたいと思えます。その他、地域貢献活動や本調査の結果について興味がある方はいつでもご連絡下さい。(地域福祉課 ☎64-5050)

寄付のお礼

(順不同、市町村名の記載の無いものは宮古市)

受付期間：平成29年11月1日～平成30年1月31日

【寄付金】

- ◆田老奉仕の会様 30,000円
- ◆宮古茶道協会様 10,000円
- ◆田老サンクラブプロジェクト様 30,000円
- ◆小山田老人歌の会様 10,000円
- ◆尾形雅夫様 10,000円
- ◆リズム様 6,068円

宮古市生活復興支援センター情報

『みんなでやれば うまくいく！』のために

自分が住む地域がこんなだったら良いな、こんなことが出来たら良いな等々、住民の皆さんは少なからず夢や要望を持っています。

そのような住民の皆さんの思いを形にすべく、私たちは様々な団体の方達と一緒にコミュニティの形成支援に携わってきました。住民同士の交流や活動といったも地域によって思いやカラーが違

◆みやこダンスフレンズ様 5,552円

◆中央大学ボランティアセンターはまぎくのつぼみ様 10,000円

◆宮古市地域婦人団体協議会様 100,000円

◆宮古市社会経験者大学様 10,000円

【物品寄付】

◆郵便局長会宮古第一分会様 タオル300枚

◆岩手県東部地区郵便局長会様 タオル200枚

◆岩手県東部地区郵便局長会会宮古第一分会様 ぞうきん100枚

◆みやこ立花輪小学校様 支援米45kg

◆三菱電機ビルテクノサービス労働組合様 ポータブルワイヤレスアンテナ1台

善意のご寄付 ありがとうございます

お詫びと訂正

前号No.46(12/1発行)において寄付金額に誤りがありました。

◆岩手県立宮古高等学校様 正：7,100円 誤：7,1000円

改めて訂正・お詫び申し上げます。



編集後記

久しぶりに雪かき作業に汗を流しました。その雪かきでご近所の人たちと話をする機会になりました。雪かきよりも話の方が主となった感もあります。道路にはご近所の方が多く出てきていました。雪かきを通して、ご近所の近況や見守りにもなっているなど感じた日となりました。

①